



## 2023年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月10日

上場会社名 中本パックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7811 URL <https://www.npacks.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河田 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 羽瀨 英彦 TEL 06-6762-0431  
 定時株主総会開催予定日 2023年5月30日 配当支払開始予定日 2023年5月31日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年5月31日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年2月期の連結業績（2022年3月1日～2023年2月28日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期	43,128	6.5	1,892	△18.9	2,206	△14.7	1,285	△12.6
2022年2月期	40,485	12.4	2,332	35.9	2,585	47.7	1,470	11.8

（注）包括利益 2023年2月期 1,556百万円（△19.9%） 2022年2月期 1,942百万円（35.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年2月期	157.27	—	8.6	6.4	4.4
2022年2月期	179.94	—	10.8	7.9	5.8

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、2023年2月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年2月期	34,578	16,469	44.5	1,884.69
2022年2月期	33,934	15,676	42.2	1,753.79

（参考）自己資本 2023年2月期 15,402百万円 2022年2月期 14,332百万円

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、2023年2月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年2月期	1,547	△775	△683	5,019
2022年2月期	3,340	△1,628	△782	4,792

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年2月期	—	29.00	—	33.00	62.00	506	34.5	3.7
2023年2月期	—	31.00	—	31.00	62.00	506	39.4	3.4
2024年2月期(予想)	—	31.00	—	31.00	62.00		40.4	

### 3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,441	2.8	841	△23.0	892	△35.9	594	△35.1	72.70
通期	44,800	3.9	1,805	△4.6	1,900	△13.9	1,253	△2.5	153.32

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.12「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2023年2月期	8,173,320株	2022年2月期	8,173,320株
2023年2月期	1,067株	2022年2月期	1,067株
2023年2月期	8,172,253株	2022年2月期	8,172,253株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年2月期の個別業績(2022年3月1日~2023年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期	31,911	5.4	1,076	△20.0	1,529	△11.2	1,014	△14.5
2022年2月期	30,285	6.5	1,346	35.3	1,722	40.4	1,186	42.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期	124.18	—
2022年2月期	145.17	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しており、2023年2月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2023年2月期	29,035	13,364	13,364	12,874	46.0	1,635.40	1,575.43	
2022年2月期	28,389	12,874	12,874	12,874	45.3	1,575.43	1,575.43	

(参考) 自己資本 2023年2月期 13,364百万円 2022年2月期 12,874百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しており、2023年2月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年4月18日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。  
当日使用する決算説明資料については、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しております。詳細については、「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う行動制限や海外からの入国制限の緩和により、経済活動が正常化に向かい始めました。しかしながら、資源価格高騰による物価高が家計に影響を及ぼし、長期化するウクライナ情勢や金融資本市場の変動などの懸念も残り、先行きは依然不透明な状況が続くと見込まれます。当社グループの事業活動も、エネルギー価格高騰による製造コストの上昇やサプライチェーンの混乱による影響を受けており、厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、「改質エコ技術でパッケージングの世界を変える Nブランド製品の拡販と環境経営の推進、原点回帰でお客様満足度を最大化する」をスローガンに、環境への負荷を低減できる開発製品の販売、原価低減、生産効率・品質の向上に注力いたしました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は43,128百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は1,892百万円(同18.9%減)、経常利益は2,206百万円(同14.7%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は1,285百万円(同12.6%減)となりました。

製品用途別の経営成績は次のとおりであります。

#### (食品関連)

新型コロナウイルス感染症の影響も軽減され、汎用性の高いテイクアウト・デリバリー用の容器・トレー向け商材の需要は落ち着きましたが、乳製品・総菜・豆腐用包材は好調に推移しました。また、百貨店の客足が戻り、デパ地下向け商材や菓子用包材も回復傾向にあるほか、紙包装へのニーズの高まりにより、紙容器への印刷・ラミネート・コーティングや生分解性ガスバリア樹脂を用いた試作等が増加したことにより、売上高は27,283百万円(前年同期比4.9%増)となりました。利益については、インキ・溶剤・電力・燃料・副資材・運送費の高騰などにより製造にかかわるほぼすべてのコストが上昇しており、製品価格への転嫁は順次進めているものの、売上総利益は2,759百万円(同7.8%減)となりました。

#### (IT・工業材関連)

ディスプレイ、電子材料、半導体用途向け製品の市況低迷により関連商材は減少しましたが、電子部品パッケージ材料や一部のスマートフォン端末向けの各種加工フィルムは新規受注などにより増加したほか、EC関連資材や製造業向け重袋も堅調に推移しました。また、次世代電池や再生エネルギー関係向け部材などの試作も増加した結果、売上高は6,711百万円(前年同期比14.8%増)となりました。利益については製造コストの上昇や、スマートフォン、PC、テレビなどのIT関連部材・家電の需要縮小の影響を受け、半導体製造関連フィルム加工の仕事量が第4四半期に大きく減少したこと、市況の影響を受けた製品ミックスの変化により利益率が低下し、売上総利益は1,688百万円(同4.0%減)となりました。

#### (生活資材関連)

圧縮袋などの収納商材がテレビショッピングの好調で増加したことにより、売上高は4,554百万円(前年同期比6.1%増)となりました。利益については、円安の影響により輸入品の日本国内販売分の利益が圧迫され、売上総利益は1,310百万円(同1.0%減)となりました。

#### (建材関連)

戸建て・集合住宅向け表面機能コーティングを施した建材は堅調に推移、壁紙向けの印刷が好調に推移した結果、売上高は2,114百万円(前年同期比10.8%増)、売上総利益は349百万円(同21.7%増)となりました。

#### (医療・医薬関連)

病院関連では輸液関係包材が堅調に推移しましたが、貼付剤関連で先発医薬品が昨年より減少しジェネリック中心になったことや薬価改定などにより販売単価が下落したこと、一部の製品で原材料が高騰した結果、売上高は1,311百万円(前年同期比0.3%減)、売上総利益は252百万円(同16.6%減)となりました。

#### (その他)

化学メーカー向け機械販売による一過性の売上があったことにより、売上高は1,152百万円(前年同期比3.0%増)、売上総利益は122百万円(同46.1%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ644百万円増加し、34,578百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が221百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が322百万円、電子記録債権が301百万円、棚卸資産が244百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,078百万円増加し、19,880百万円となりました。

固定資産につきましては、生産能力増強を目的とした設備投資を行ったものの、2021年10月8日開催の取締役会において、当社の連結子会社である廊坊中本包装有限公司を解散することを決議したことに伴い、固定資産を売却したこと等により有形固定資産が317百万円、投資有価証券の減少等により投資その他の資産が107百万円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ433百万円減少し、14,698百万円となりました。

## (負債)

当連結会計年度末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ147百万円減少し、18,109百万円となりました。

流動負債につきましては、電子記録債務が182百万円、短期借入金が306百万円それぞれ増加したものの、支払手形及び買掛金が76百万円、未払法人税等が239百万円、その他が209百万円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ58百万円減少し、15,616百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が42百万円、リース債務が59百万円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ89百万円減少し、2,493百万円となりました。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ792百万円増加し、16,469百万円となりました。これは、子会社株式の追加取得等により非支配株主持分が277百万円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が788百万円増加したことや、資本剰余金が141百万円、為替換算調整勘定が200百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ227百万円増加し、5,019百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、1,547百万円(前連結会計年度は、3,340百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前当期純利益2,110百万円、減価償却費1,306百万円等による増加要因が、為替差益122百万円、売上債権の増加額324百万円、棚卸資産の増加額352百万円、未払消費税等の減少額129百万円及び法人税等の支払額944百万円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、775百万円(前連結会計年度は、1,628百万円の減少)となりました。これは、固定資産の売却による収入342百万円等による増加要因が、生産加工設備等の固定資産の取得による支出1,213百万円等による減少要因を下回ったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は、683百万円(前連結会計年度は、782百万円の減少)となりました。これは、短期借入金の純増額246百万円及び長期借入れによる収入700百万円等による増加要因が、長期借入金の返済による支出748百万円、配当金の支払額523百万円及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出250百万円等による減少要因を下回ったことによるものであります。

#### （4）今後の見通し

今後のわが国経済は、コロナ禍による経済社会活動への制約が緩和され、内需を中心に緩やかな回復が続くと思われれます。一方で、物価高のマイナスの影響、海外需要低迷による輸出の弱含み、ウクライナ情勢をはじめとした地政学リスク、金融不安などによっては停滞感が強まることも考えられ、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の下、2024年2月期の連結業績見通しにつきましては、売上高44,800百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益1,805百万円（同4.6%減）、経常利益1,900百万円（同13.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,253百万円（同2.5%減）を見込んでおります（未確定外貨に係る、円の対元の為替レートの前提は1元20円00銭）。

資源価格の高騰により、電気やガス、インキ、接着剤、溶剤など各種製造にかかわる費用や運送費が値上がりしており、売上原価は前年以上に上昇する見込みです。更なる生産効率改善や石化由来インキの使用量削減などで業績への影響を緩和できるよう取り組んでまいりますが、各種費用の想定以上の値上がりや価格転嫁が追い付かない場合には、業績が変動する可能性があります。

食品関連においては、外食や行楽、インバウンドの需要が回復すると思われれます。また、ニッセー株式会社から事業譲受した食品容器成型事業が寄与するほか、環境対応包材や機能性包材に対する引き合いも増えていくと予想しております。ただし、物価高により消費マインドが悪化した場合には業績が変動する可能性があります。

I T・工業材関連においては、E C関連資材や製造業向け重袋などの産業用資材は堅調な受注を見込んでおりますが、前年途中から続くスマートフォン、P Cやテレビなどの販売不振により電子材料向け製品などは低調に推移する見通しです。さらにI T関連財市況の調整局面が長期化する場合や、国際情勢によりサプライチェーンに混乱が生じた場合は業績が変動する可能性があります。

なお、2024年2月期の経営課題を「環境経営と改善活動の推進、原点回帰でお客様満足度を最大化する」といたしました。環境対応製品の開発と拡販、環境対応インキ・接着剤への切り替えをはじめとした環境経営を進めるとともに、材料使用量削減や生産効率向上など改善活動による原価低減を推進いたします。また、顧客のニーズ・環境対応・省力化に貢献できる製品の提供と、品質管理に注力して顧客満足度の向上に努めると共に、企業としての社会的責任を果たし、ステークホルダーとの信頼関係を築き、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実効性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当連結会計年度 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,881,766	5,103,102
受取手形及び売掛金	7,445,477	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	7,767,557
電子記録債権	1,938,071	2,239,944
商品及び製品	2,592,447	2,831,398
仕掛品	591,295	370,671
原材料及び貯蔵品	1,109,095	1,335,623
その他	249,493	238,316
貸倒引当金	△6,151	△6,567
流動資産合計	18,801,496	19,880,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,422,501	6,139,207
機械装置及び運搬具（純額）	2,633,976	2,509,777
土地	3,138,364	3,138,364
リース資産（純額）	441,813	395,119
建設仮勘定	259,430	422,642
その他（純額）	251,536	225,061
有形固定資産合計	13,147,623	12,830,173
無形固定資産		
その他	378,068	369,514
無形固定資産合計	378,068	369,514
投資その他の資産		
投資有価証券	760,444	668,236
長期貸付金	12,715	10,782
繰延税金資産	222,683	224,677
その他	638,410	622,688
貸倒引当金	△27,245	△27,245
投資その他の資産合計	1,607,007	1,499,138
固定資産合計	15,132,699	14,698,826
資産合計	33,934,195	34,578,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当連結会計年度 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,237,559	4,160,916
電子記録債務	3,743,291	3,925,329
短期借入金	5,005,923	5,312,693
1年内返済予定の長期借入金	677,386	673,316
リース債務	86,533	86,249
未払法人税等	588,636	349,242
賞与引当金	221,977	204,334
その他	1,113,543	904,484
流動負債合計	15,674,852	15,616,566
固定負債		
長期借入金	1,845,177	1,802,455
リース債務	374,489	315,446
繰延税金負債	42,857	47,684
退職給付に係る負債	171,153	186,682
その他	149,123	140,837
固定負債合計	2,582,802	2,493,106
負債合計	18,257,655	18,109,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,468	1,057,468
資本剰余金	1,166,402	1,308,179
利益剰余金	11,356,927	12,145,081
自己株式	△1,101	△1,101
株主資本合計	13,579,696	14,509,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,580	92,953
繰延ヘッジ損益	△89	4,826
為替換算調整勘定	607,472	807,556
退職給付に係る調整累計額	18,785	△12,833
その他の包括利益累計額合計	752,748	892,503
非支配株主持分	1,344,095	1,067,068
純資産合計	15,676,540	16,469,199
負債純資産合計	33,934,195	34,578,872

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
売上高	40,485,133	43,128,879
売上原価	33,595,278	36,646,098
売上総利益	6,889,855	6,482,781
販売費及び一般管理費	4,557,396	4,590,207
営業利益	2,332,458	1,892,573
営業外収益		
受取利息	5,794	8,442
受取配当金	16,989	21,406
受取地代家賃	33,553	34,509
受取保険金	14,503	11,513
為替差益	146,048	186,332
その他	152,524	167,889
営業外収益合計	369,413	430,092
営業外費用		
支払利息	67,437	65,816
その他	48,727	50,744
営業外費用合計	116,164	116,560
経常利益	2,585,706	2,206,105
特別利益		
固定資産売却益	1,160	70,447
投資有価証券売却益	1,095	12,640
特別利益合計	2,256	83,087
特別損失		
固定資産売却損	474	—
固定資産除却損	33,647	85,434
減損損失	30,059	69,147
特別退職金	134,889	23,893
特別損失合計	199,071	178,475
税金等調整前当期純利益	2,388,891	2,110,717
法人税、住民税及び事業税	810,753	700,646
法人税等調整額	21,323	19,897
法人税等合計	832,076	720,543
当期純利益	1,556,814	1,390,173
非支配株主に帰属する当期純利益	86,321	104,958
親会社株主に帰属する当期純利益	1,470,493	1,285,214

## (連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
当期純利益	1,556,814	1,390,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,758	△35,179
繰延ヘッジ損益	4,497	9,638
為替換算調整勘定	381,770	223,178
退職給付に係る調整額	12,860	△31,618
その他の包括利益合計	385,370	166,018
包括利益	1,942,185	1,556,191
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,804,428	1,424,969
非支配株主に係る包括利益	137,756	131,222

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,057,468	1,158,408	10,360,425	△1,101	12,575,200
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,057,468	1,158,408	10,360,425	△1,101	12,575,200
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△473,990	—	△473,990
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,470,493	—	1,470,493
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	7,993	—	—	7,993
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	7,993	996,502	—	1,004,496
当期末残高	1,057,468	1,166,402	11,356,927	△1,101	13,579,696

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	139,478	△2,382	275,793	5,924	418,812
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	139,478	△2,382	275,793	5,924	418,812
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,897	2,293	331,679	12,860	333,935
当期変動額合計	△12,897	2,293	331,679	12,860	333,935
当期末残高	126,580	△89	607,472	18,785	752,748

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1,228,103	14,222,116
会計方針の変更による累積的影響額	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,228,103	14,222,116
当期変動額		
剰余金の配当	—	△473,990
親会社株主に帰属する当期純利益	—	1,470,493
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	7,993
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	115,991	449,927
当期変動額合計	115,991	1,454,424
当期末残高	1,344,095	15,676,540

当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,057,468	1,166,402	11,356,927	△1,101	13,579,696
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	25,963	—	25,963
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,057,468	1,166,402	11,382,890	△1,101	13,605,659
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△523,024	—	△523,024
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,285,214	—	1,285,214
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	141,776	—	—	141,776
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	141,776	762,190	—	903,967
当期末残高	1,057,468	1,308,179	12,145,081	△1,101	14,509,626

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	126,580	△89	607,472	18,785	752,748
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	126,580	△89	607,472	18,785	752,748
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△33,627	4,915	200,084	△31,618	139,755
当期変動額合計	△33,627	4,915	200,084	△31,618	139,755
当期末残高	92,953	4,826	807,556	△12,833	892,503

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1,344,095	15,676,540
会計方針の変更による累積的影響額	△3,852	22,110
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,340,242	15,698,650
当期変動額		
剰余金の配当	—	△523,024
親会社株主に帰属する当期純利益	—	1,285,214
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	141,776
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△273,173	△133,418
当期変動額合計	△273,173	770,548
当期末残高	1,067,068	16,469,199

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,388,891	2,110,717
減価償却費	1,312,487	1,306,752
のれん償却額	28,638	28,638
減損損失	30,059	69,147
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	693	416
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△989	△17,643
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△40,487	△30,030
受取利息及び受取配当金	△22,783	△29,848
支払利息	67,437	65,816
為替差損益 (△は益)	△138,094	△122,455
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,095	△12,640
固定資産除却損	33,647	85,434
固定資産売却損益 (△は益)	△686	△70,447
売上債権の増減額 (△は増加)	352,913	△324,103
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△997,415	△352,115
仕入債務の増減額 (△は減少)	590,853	△53,467
未払消費税等の増減額 (△は減少)	153,230	△129,286
その他	106,095	5,139
小計	3,863,396	2,530,023
利息及び配当金の受取額	21,386	29,748
利息の支払額	△64,557	△67,621
法人税等の支払額	△480,055	△944,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,340,170	1,547,750
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△1,559,401	△1,213,964
固定資産の売却による収入	13,835	342,244
固定資産の除却による支出	△4,799	△3,821
投資有価証券の取得による支出	△18,583	△20,940
投資有価証券の売却による収入	2,595	73,565
貸付けによる支出	△6,000	—
貸付金の回収による収入	2,297	1,933
定期預金の預入による支出	△73,384	—
定期預金の払戻による収入	—	14,075
差入保証金の差入による支出	△1,086	△7,647
差入保証金の回収による収入	5,479	2,769
その他	10,132	36,069
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,628,915	△775,717
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	99,861	246,650
長期借入れによる収入	729,294	700,000
長期借入金の返済による支出	△1,063,919	△748,216
リース債務の返済による支出	△61,465	△95,521
配当金の支払額	△472,849	△523,977
非支配株主への配当金の支払額	△6,303	△12,699
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△7,467	△250,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△782,850	△683,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	156,588	139,007
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,084,992	227,160
現金及び現金同等物の期首残高	3,707,389	4,792,381
現金及び現金同等物の期末残高	4,792,381	5,019,542

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。収益認識会計基準等の適用による主な変更点は下記のとおりであります。

## (1) 代理人取引に係る収益認識

商品の仕入れ販売に係る収益について、従来は、総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財またはサービスの提供における役割(本人または代理人)を判断した結果、代理人取引と判断したものについては純額で収益を認識する方法に変更しております。

## (2) 変動対価に係る収益認識

製品販売におけるリベート等の変動対価は、従来は、金額確定時に売上高から控除しておりましたが、取引の対価の変動部分の額を見積り、認識した収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り取引価格に含める方法に変更しております。

## (3) 返品権付き販売に係る収益認識

返品される可能性のある製品販売取引について、予想される返品部分に関しては、変動対価に関する定めに従って、販売時に収益を認識しない方法に変更しております。

## (4) 一定の期間にわたり充足される履行義務に係る収益認識

工事契約に関して、従来は、検収基準で収益を認識しておりましたが、一定の期間にわたり履行義務が充足される契約については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき一定期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、各報告期間の期末日までに発生した工事原価が、予想される工事原価の合計に占める割合に基づいて行っております。なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

## (5) 有償支給に係る収益認識

有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。ただし、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

この結果、収益認識会計基準等の適用を行う前と比べて、当連結会計年度の連結貸借対照表は、受取手形、売掛金及び契約資産は13,073千円増加し、商品及び製品は40,367千円増加し、仕掛品は9,826千円減少し、流動資産のその他は5,536千円増加し、流動負債のその他は54,157千円増加しております。当連結会計年度の連結損益計算書は、売上高は283,111千円減少し、売上原価は246,920千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ36,191千円減少しております。

当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の当期首残高は25,963千円増加し、非支配株主持分の当期首残高は3,852千円減少しております。

当連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、印刷関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載をしておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
1株当たり純資産額	1,753.79円	1,884.69円
1株当たり当期純利益	179.94円	157.27円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,470,493	1,285,214
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,470,493	1,285,214
普通株式の期中平均株式数 (株)	8,172,253	8,172,253

(重要な後発事象)

該当事項はありません。